

愛媛大学大学院農学研究科 研究シーズ集（研究者情報）

氏名	若林 良和	専攻	食料生産学
		コース	水圏生産学
職名	教授	専門分野	水産社会科学(水産社会学)
メールアドレス	wakabayashi.yoshikazu.mu@ehime-u.ac.jp	その他連絡先	089-946-9921(研究室直通)
研究課題	水産業・漁村に関する社会科学分野のトランスディシプリナリー研究①:基礎研究		
キーワード	トランスディシプリナリーアプローチ(超学際的接近)、社会構造、生活文化、食育推進、魚食普及		

研究内容:上記の研究課題にしたがった、具体的な研究内容は次のとおりである。

1. 漁業地域の社会構造と生活文化

漁業地域に関する基礎的な社会科学的な研究として、地域社会に対する構造分析、地域生活に対する教育・文化論的な分析を展開する。特に、水産業・漁村の持つ本来の機能に加えて、多面的機能の把握をもとに、漁村コミュニティの方途を検討する。

2. 水産分野の食育推進・魚食普及

現代日本社会で重視される「食と健康・産業」に関して総合的な研究を展開する。特に、地域社会と食育推進、地域水産業と魚食普及の方策に焦点をあてて分析する。地域の伝統的な食文化や魚食文化の探求、食育の地域協働化、食育イベントの開発、ライフステージに応じた食育の実践が当面の課題である。さらに、地域活性化・水産振興を念頭に置いた「ぎょしょく教育」の学際的な検討を推進する。「ぎょしょく教育」のコンテンツ・メソッド・マテリアル開発、評価・効果測定をもとに、地域水産物の普及・啓発の仕掛け（「ぎょしょく検定」、「ぎょしょくツーリズム」など）の検討を行う。

当該研究に関する実績:

- * 著書・論文: 『水産社会論』御茶の水書房、2000(単著) 『ぎょしょく教育』筑波書房、2008(編著)
 『日本の漁村・水産業の多面的機能』北斗書房、2009(共著) 『食育入門』共立出版、2014(共著)
 『社会共創学概論』晃洋書房、2016(共著)
- * 外部資金獲得実績(代表者分のみ): 文部科学省科学研究費補助金、農水省「にっぽん食育推進事業」、トヨタ財団
 地域社会プログラム、文部科学省「消費者教育推進のための調査研究事業」など。
- * 学会賞等: 地域漁業学会・学会奨励賞、漁業経済学会・学会賞、農水省・地域に根ざした食育コンクール 2006 優秀
 賞(共同)、大日本水産会・魚食普及表彰(共同)など。
- * 産学官連携などに関する学外の役職(学会を含む): 農林水産省政策評価会水産庁専門部会・委員、副座長 水
 産庁民間団体補助金交付候補者選定審査委員会・委員 経済産業省四国経済産業局地域新成長産業創出
 促進事業審査委員会・副委員長 水産庁産地水産業強化支援事業総合検討委員会・委員など。
 学会の役職: 日本カツオ学会・会長、地域漁業学会・会長、漁業経済学会・理事、日本食育学会・代議員など。

提供可能な資源・技術・その他

- * 上記の研究課題・キーワード・研究内容に関することであれば、柔軟に、かつ、弾力的に対応する。
 たとえば、「ぎょしょく教育」に関するコンテンツ・ツール・マテリアル開発のノウハウなど。

プロジェクト研究希望テーマ

- * 上記の研究課題・キーワード・研究内容に関することであれば、柔軟に、かつ、弾力的に対応する。
 たとえば、①水産業と漁村地域の社会構造と生活文化に関する研究、②水産分野における食育推進と魚食普及に関
 する研究など。